

## 「高信頼性ソフトウェア開発基盤整備コンソーシアム」設立趣意書

- Java プログラムの再利用性を高めるためのソフトウェア開発・変更支援環境の構築を目指して -

平成15年8月吉日

発起人	(株)ピクト	代表取締役	吉原章司
	愛知県立大学 情報科学部	助教授	山本晋一郎
	立命館大学 理工学部	助教授	丸山勝久
	(財)ソフトウェア工学研究財団	事務局長	木村公則

コンピュータおよびコンピュータネットワーク技術が企業のみならず個人の日常にまで浸透している現代社会においては、ソフトウェアが人間の生活をより快適、効率的、効果的にしてくれることは当然であり、同時に、情報通信社会の共通基盤として十分な信頼性、安全性を備えていなければなりません。

一方で、社会の発展に応じてそれを支えるソフトウェアに変化が要求されているにもかかわらず、巨大かつ複雑なソフトウェアは単純に変更が出来ず、度重なる改変により信頼性や安全性の維持が困難になりつつあります。

ソフトウェア保守がますます重要になる情報化社会において、信頼性や安全性を維持したままソフトウェア変更を行う基盤技術の確立が急務と考えております。

このような背景から、我々は、政府が掲げる e-Japan 戦略のもと、経済産業省による[戦略的技術開発等の推進](#)政策に沿って、情報処理振興事業協会（略称：IPA）が平成14年度に実施した「[次世代ソフトウェア開発事業](#)」の[ソフトウェアの信頼性・生産性向上分野](#)に「再利用性の高いJava - XMLリポジトリを用いた次世代ソフトウェア変更環境の開発」として応募・提案し、採択を受け、安全性・信頼性を維持したままJavaプログラムの再利用性を高めるための共通基盤として

- ・Java-XMLリポジトリ（Java言語で記述されたプログラムの構文解析結果をXML形式で保持）のXMLスキーマの規定
- ・Java-XMLリポジトリをアクセスするための汎用的なライブラリの開発
- ・Java-XMLリポジトリを利用した開発支援ツールの実例としてのリファクタリングツールの開発

を行って参りました。

産・学・官の協調のもと、ここで得られた技術開発成果は、単に新しいリポジトリやリファクタリングツールを実現しただけではなく、ソフトウェア開発プロセスの様々な局面において必要となるツール類の開発基盤（リポジトリ、アクセスライブラリ）を目指したもので、CASE ツールやテスト自動化ツールへの応用、既存のソフトウェア開発ツールとの統合、EDMS（Enterprise Document Management System）との連携など、様々な利用が考えられます。

当コンソーシアムとしては、今年度も引き続き、基盤の拡張やJavaソースコードの理解支援ツールなどの開発を行う予定でおります。

これらの成果物はオープンソースとして公開し、「高信頼性ソフトウェア開発基盤の確立と普及・発展」をキーワードに、世に広く認知していただくとともに、真に有用な開発支援環境としてより多くの方々に利用・評価していただくことを目指しております。

同時に、これらの技術をコンソーシアムメンバで共有し、さらにブラッシュアップを図ることにより、基盤上に構築整備される各種支援ツールや蓄積された知識をコンソーシアム参画企業が経済的価値へ変換・流通することによるビジネス展開や、研究者にとっての学術的成果の発展などを図って頂けるようなWin - Winの関係を実現したいと考えております。

以上の趣旨に基づき、高信頼性ソフトウェア開発基盤環境の技術開発や評価、基盤上でのツール開発や販売を考えていただける法人、同技術の研究・発展・普及にご尽力いただける団体・個人等、幅広くご賛同頂ける方々のメンバ参加を希望いたします。

# 高信頼性ソフトウェア開発基盤整備コンソーシアム 入会申込書

申込日 年 月 日

コンソーシアム事務局 御中

事務局：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-9  
株式会社ピクト内  
FAX:03(3369)5277

高信頼性ソフトウェア開発基盤整備コンソーシアムの趣旨に賛同し、下記のとおり入会を申し込みます。

## 【入会費・会費無料】

会社・団体名		(ふりがな)
所在地		
代表者	氏名	(ふりがな)  印
	役職	
連絡担当者	担当者氏名	(ふりがな)
	所属部署	
	役職	
	住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
ご入会を希望された理由をご記入ください。		

お手数ですが、ご記入の上、ご郵送願います。